

平成22年 業種別死傷災害発生状況(確定版)

鹿児島労働局

業種	年	平成 22 年		平成 21 年		増 減 数	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全 産 業		1,699	19	1,615	12	84	7
鉱山保安法適用を除く		1,697	19	1,615	12	82	7
製 造 業		347	1	372	1	-25	
食 料 品		203	1	188	1	15	
木 材 ・ 木 製 品		25		32		-7	
窯 業 ・ 土 石 製 品		17		24		-7	
金 属 製 品		26		30		-4	
機 械 器 具		29		38		-9	
上 記 以 外 の 製 造 業		47		60		-13	
鉱 業		6	1	3		3	1
鉱山保安法適用事業		2				2	
土 石 採 取 業		4	1	3		1	1
建 設 業		242	9	240	5	2	4
土 木 工 事 業		119	6	107	4	12	2
建 築 工 事 業		95	2	109	1	-14	1
そ の 他 の 建 設 業		28	1	24		4	1
運 輸 交 通 業		197	3	187	1	10	2
貨 物 取 扱 業		19		21		-2	
林 業		76		88	1	-12	-1
上 記 以 外 の 事 業		812	5	704	4	108	1
商 業		204	1	192	4	12	-3
保 健 衛 生 業		171		131		40	
接 客 娯 楽 業		118		99		19	
清 掃 ・ と 畜 業		49	1	62		-13	1
上 記 以 外 の 事 業		270	3	220		50	3

① この統計は、労働者死傷病報告により労働災害の被災者を集計したものです。

② 死傷者数は、休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。

平成22年 死亡災害事例【平成22年12月31日現在】

鹿児島労働局

番号	発生年月日	管轄署 (現地署)	業種	職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	平成22年 1月 5日	鹿児島	一般貨物自動車運送業	運転者	男	50	崩壊・倒壊	金属材料	トレーラーの荷台に鉄骨加工品(ビルの柱、1本500kg)を19本載せ、内5本を被災者を含む2名でワイヤーロープにて束ねていたところ崩壊し、荷台から5本とも落下した。被災者は鉄骨加工品が落下する前に自ら飛び降りたが逃げ切れずトレーラー横に仮置きされた鉄骨加工品と落下した鉄骨加工品の間に挟まれた。
2	平成22年 1月 15日	鹿屋	警備業	警備員	男	30	交通事故 (道路)	乗用車、バス、 バイク	道路建設工事のため一般車両の通行する国道(片側一車線)の片側車線箇所をカラーコーンで囲んだ現場内に、車線(桜島口から霧島市方向へ)を走行していた第三者の軽自動車が入り、車両誘導中の警備員2名がはねられ、内1名が死亡した。
3	平成22年 1月 29日	川内	機械器具設置工事業	技術者	男	29	高温・低温 の物との接 触	電力設備	電気室での母線停電作業において、被災者が受電用遮断機の端子にアースケーブルを取り付ける作業中、受電用遮断機からアークが噴出、被災者が死亡し、6人が負傷した。
4	平成22年 2月 15日	鹿児島	農業	運転者	男	67	激突され	乗用車、バス、 バイク	サトウキビ収集場所付近の道路上に、被災者がサイドブレーキをかけずエンジンをかけたまま車(ワンボックスの軽自動車)を止め、他の労働者に作業中止の連絡をするため車道を歩いていたところ、停めた車が動き出し被災者に激突した。
5	平成22年 3月 1日	川内	農業保存食料品製造業	製造工	男	55	はさまれ・ 巻き込まれ	コンベア	清掃作業終了後に1人でベルトコンベアの点検を行っていた被災者が、ベルトコンベアに巻き込まれている状態で発見された。
6	平成22年 3月 16日	川内	産業廃棄物処理業	作業員	女	60	はさまれ・ 巻き込まれ	その他の木材 加工用機械	工場内で、鋸屑製造機に材料(木材)を送給する作業を1人で行っていた被災者が、同製造機の送給設備の駆動チェーンに巻き込まれた状態で発見された。

番号	発生年月日	管轄署 (現地署)	業種	職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
7	平成22年 3月 27日	鹿児島	一般貨物自動車運送業	運転者	男	46	交通事故 (道路)	トラック	福岡県から宮崎市に向けて宮崎自動車道を4トン冷蔵車で走行していたところ、前方の田野インターー宮崎インター間のトンネル内で発生した横転事故のため、停車・渋滞状態となっていた後続車両の最後尾の10トントラックに追突した。
8	平成22年 4月 29日	名瀬	採石業	作業員	男	60	墜落・転落	掘削用機械	ドラグショベルの修理を行っていた被災者が、運転席後ろの高さ約2, 3mのカウンターウェイトの端から墜落した。
9	平成22年 5月 13日	名瀬	その他の土木工事業	作業員	男	58	交通事故 (道路)	乗用車、バス、 バイク	道路の保全工事現場において、被災者が道路左側(路側帯)で打設した生コンを均していたところ、突っ込んできた自動車にはねられた。なお、被災者が作業を行っていた箇所はカラーコーンで区画されていた。
10	平成22年 7月 8日	鹿児島	道路建設工事業	作業員	男	61	崩壊、倒壊	建築物、構築物	道路側溝整備工事のため、民家のコンクリート壁の下で、道路側溝部分の床掘作業を労働者5名で行っていたところ、コンクリート壁裏の土砂ごと長さ約10mにわたって崩れてコンクリート壁が倒壊し、労働者2名がコンクリート壁の下敷きとなった。
11	平成22年 7月 8日	鹿児島	道路建設工事業	作業員	男	62	崩壊、倒壊	建築物、構築物	道路側溝整備工事のため、民家のコンクリート壁の下で、道路側溝部分の床掘作業を労働者5名で行っていたところ、コンクリート壁裏の土砂ごと長さ約10mにわたって崩れてコンクリート壁が倒壊し、労働者2名がコンクリート壁の下敷きとなった。
12	平成22年 7月 15日	鹿屋	その他の土木工事	貨物自動車運転者	男	59	はさまれ・ 巻き込まれ	トラック	工事用看板を設置するため道路脇に2tダンプを止めて作業中、停車していた同ダンプが動き出したことから被災者が同ダンプを止めようと車外からハンドルの操作をしたところ、体が同ダンプの下に入り、後輪に轢かれた。なお、現場道路は4～6度の勾配がついていた。

番号	発生年月日	管轄署 (現地署)	業種	職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
13	平成22年 7月 22日	鹿児島	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業	作業員	男	36	高温・低温 の物との接 触	高温・低温環 境	増築工事現場において、外壁用のセメントボードに穴を開け、金具を取り付ける作業を屋外(気温約33度)で行っていた被災者が、体調が悪い旨を職長に申し出て、現場から約70m離れた散水用の蛇口付近で休憩を取ろうと座ったところ、そのまま倒れ意識を失った。搬送先の病院において死亡した。
14	平成22年 8月 21日	鹿児島	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業	作業員	男	33	飛来、落下	玉掛用具	地上14階地下1階建てビルの新築工事現場において、基礎杭打設用の立坑内の泥水置換に使用した泥水排出用鉄製パイプ(長さ約11メートル、直径15センチメートル、重量約175キログラム)1本をクローラークレーンで坑内から吊り上げ、同パイプの端を地面に接地させ並べようとした際に、同パイプを玉掛けしたワイヤロープがフックから外れ、倒れてきた同パイプが被災者に当たった。
15	平成22年 8月 27日	川内	港湾海岸工事業	作業員	男	58	おぼれ	移動式クレーン	22時10分頃、宿泊施設になっている浮きクレーン(つり上げ荷重310トン)内の居室に被災者がいないことに気が付き探していたところ、海中に沈んでいる被災者を発見した。なお、同クレーンは強風を避けるため、漁港に停泊中であつた。
16	平成22年 11月 8日	川内	一般貨物自動車運送業	運転者	男	28	交通事故 (道路)	乗用車、バス、 バイク	荷物の配達のため、ワゴン車で片側一車線の国道を走行中、対向車線をはみ出してきたトラックと正面衝突した。
17	平成22年 12月 1日	加治木	道路建設工事業	作業員	男	26	はさまれ・ 巻き込まれ	その他の建設 用機械	アスファルトフィニッシャーのスクリーを動かしながら噴霧器で軽油(アスファルト材の固着を防止するためのもの)を吹き付けていた被災者が同スクリーに巻き込まれた状態で発見された。
18	平成22年 12月 21日	鹿屋	畜産業	作業員	男	63	火災	アーク溶接装 置	屋内で柵を補修するために、被災者がアーク溶接装置(発電機と一体型)の発電機のスイッチを入れたところ、発電機より出火、火災となり死亡した。

番号	発生年月日	管轄署 (現地署)	業種	職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
19	平成22年 12 月 22 日	加治木	その他の卸売業	運転者	男	37	交通事故 (道路)	トラック	九州自動車道の下り登坂車線において、故障した被災者のトラックと救援にきた同僚のトラックの間に被災者が立っていたところ、別のトラックが救援のトラックに追突したため、故障したトラックとの間に挟まれて死亡した。

平成22年 重大災害事例(交通事故を含む) 【平成22年12月31日現在】

鹿児島労働局

番号	発生年月日	管轄署	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)	死亡	負傷
1	平成22年1月29日	川内	電気業	技術者	男	18	高温・低温 の物との接 触	電力設備	電気室での母線停電作業において、受電用遮断機の端子にアースケーブルを取り付ける作業中、受電用遮断機からアークが噴出し、7名が被災した。	0	4
			27(2名)			36				1	0
			29			30				33	0
2	平成22年11月4日	鹿屋	パン・菓子製造業	作業員	女	63	交通事故	トラック	労働者をマイクロバスで送迎中、工場敷地内に入るため右折したところ、後から走行してきた軽トラックに追突され、9名が負傷したものの。	0	9
						58					
						56					
						58					
						66					
						54					
						20					
						62					
65											

※ 重大災害とは、一時に3人以上の死傷者を伴う災害である。